

Okahata

NEWS LETTER

Business updates, new ideas and more
from Okahata

2021

02



インド・BlackRoseのAnupさん@フェイスシールド

Pick
Up

直近のインド品開発レポート

カルボマー採用間近！

インドメーカーのカルボマーが韓国内数社で採用間近。
詳細は後述

社長のつぶやき

岡畑典裕です。



はい、気を取り直して(笑)、今月はインド特集です！
映画の国から“ムンバイの近況”@Youtubeと、“超回復
のインド・インタビュー”。
キーワードは、“**いい加減、好い加減**”。ビジネスupdate
はカルボマー。旧正月新年快樂@Youtube。

今月も、3倍コミュニケーション！
ONLから、沢山の対話やエネルギーが生まれることを
願って！

今月はインド特集

- **アヌープさん**(インド・BlackRose) **インタビュー&動画**
- **岡畑興産の インド品開発レポート**

“コロナから超回復、 インドの今”

は、2回目登場BlackRose(BR)のアヌーブさん。

長い馴れ初めなど、前回記事(20年7月)はこちらへ。

LINK ▶ ONL issu03/2020.07号
<https://okahata.wixsite.com/oksite/onl>

神戸育ち・関西弁ペラペラのアヌーブさんとのインタビューは実は英語、それでも"いい加減"だけは日本語でした・笑。

全土ロックダウン明けて、“感染はひどいのにインド
化学品供給安定の謎”を語ってもらった前回から一
転、アヌーブさん曰く、“行動制限はほぼゼロ。不便な
のは、乗車時間枠が決められてる電車くらい”という、
普通っぷり。まずは、BR撮影のムンバイ市民生活の
ニューノーマルをどうぞ！

…見所は、人が屋根やドアから溢れ出してないイン
ドの電車！なんかとっても新鮮です…

LINK ▶ ムンバイの近況
<https://youtu.be/aH0UsNsmdRk>



たくましく立ち上がる “インド経済のリアル” インタビュー

NO:岡畑典裕／聞き手

AJ:アヌーブさん(BR)

NO:ズバリ、Black Rose の業績どうですか？

AJ:20年4－6月期がどん底。7－9月期で2019年ベースに戻り、10－12月期は過去最高。1－3月は少し落ち着きを見せるかな。インド産業界全体が同じ動きですよ。

NO:過去最高って…回復ペースも速すぎませんか？

AJ:市場価格が落ち切った夏頃、行動制限も緩和されて、9月位には業績的手応えを感じてました。自分の周りも、不動産や車を買出ししたり、取引先の事業投資も積極的、設備や土地購入が始まって。

NO:政府支援のおかげ？

AJ:いや、それはあまりなくて。インド政府のコロナ対策は貧困層へのフリーフード中心。マーケットが底を打ったから、皆がお金を使い出しただけ。世の中は、通年のマイナス成長で騒ぎがちですけど、20年Q4の経済指標が出てくれば、みんなピンとくるんじゃないかな。

参考:2020年Q3インド経済マクロ分析はこちら。

LINK▼

https://www.murc.jp/report/economy/analysis/research/report_201210/

NO:巨大成長市場の勢いというか、個人消費と投資の旺盛さは、日本とは大違い・涙。

さて、Unlock 1.0から始まったインド政府のコロナ対策も、今やUnlock 9.0！なにが変わったの？

AJ:もう9.0なの？インドじゃ誰もフォローしてない・笑。映像にある通り、マスク、手洗い、とか、科学的なことをちゃんとやろうってことだけなので。実のと

ころ、手で食べる習慣はなくならないですし、前後にアルコール消毒するのはニューノーマル。決してケアレスっていうことはなく、みな慎重に、対策をとって行動していますし、それが続くことを願っています(少し、第二波の可能性を心配されてもいました)。



NO:映ってるレストランは、BRご近所の“Status”、ターリ(定食のこと)、美味しかったのを覚えてます、ああ、ムンバイ行きたい(涙)。さて、感染者数も減少傾向。出社や対面面談の状況は？

【コロナ関連データ】日計(2021年2月12日)

	感染者	死者	死者/10万人
日本	1,316	63	0.050
インド	12,143	103	0.00
韓国	362	7	0.014
台湾	1	0	0.000
アメリカ	99,558	5,463	1.670
オレゴン州	494	42	1.096

※岡畑興産の主要拠点(中国を除く)

AJ:BRはほぼ100%出社、国内出張も可能、Webと対面組み合わせて、ビジネスもコミュニケーションも元に戻ってます。インドはそもそも接待・会食カルチャーはないし。

NO:コロナ対策的には、インドは集団免疫推進っぽく見えるけれど。

AJ:結果的に受け入れているだけで…。周りにいく
らでも感染者がいるし、元々感染症は多いのでコロナ
が特別視されないですから。そもそもインドでコンタ
クト・トレーシングも不可能でしょ？感染防止策も明
確だから、やることははっきりしてるし。

NO:すごく冷静、達観してるというか。日本だった
ら、即パニックかも。

AJ:インドはメディアがコロナばかり煽らないし。
コロナ以外に報道すべき問題山積だから・笑。ワクチ
ン大国だけど、だからといって特別、楽観視もしてい
ない。



NO:空港の写真はびっくり。これだけ国内移動が
戻っても感染者数減少というのはとても不思議。

AJ:インドは2億人位がコロナ抗体を持ってるって
言われてるし、抑え込み成功国ほど、今はキツイのか
も。無症状感染者の多さも諸説あるけど、インドは沢
山の感染症とワクチン接種を経験してきたので、特別
な免疫システムが発達してるかも。ターメリックをは
じめ免疫力を高める食材のおかげと言われたり。

NO:そもそも、なんかタフですよ。

AJ:インド人は、変化とかショック耐性が強いんで
す。インドの歴史自体がショックと変化の連続だか
ら、大抵のことでは驚かないし、受け入れちゃう。“**い
い加減**”といえそうかもしれないけど。日本とは真
逆。

NO:日本はショックに弱く、ルールに強い。。。さて、“**いい加減さ**”といえ(笑)、日本企業がインド品検討の際に必ずぶつかる課題。「経営層はいいこと言うが、いざモノが来たら、コンタミや品質不安定」という**インドあるある**。

AJ:内部管理が弱くて、しょぼいミスを出してしまうのはインド企業にありがち。これは我々BRが注力指導してる部分です。日本のようにDetailsにこだわらないし、まあ全体的にオツケーならいいでしょという、悪い“いい加減さ”。中国企業と比べると、日中は技術指導をしてきた長い歴史があり、高い成長志向や文化・距離の近さから、なんだかんだ、分かり合えるでしょ。インドと日本はまだそこまでの結び付きがないから。

NO:お互いに辛抱がないというか。いい加減さも含めて、長いスパンで付き合う覚悟がないと、インドとは良い仕事にならないんですよ。BCP、成長市場だけでは続かない。**いい加減を“良い加減“に持っていく相互努力**が大事だと。

AJ&NO:インドの“**好い加減**“を探すお手伝い、岡畑興産とBRにお任せください！

■最後に…

今回はカルカッタに飛ぶ直前インタビュー。ムンバイ空港の様子は、緊急事態宣言下の日本とは違う、普通っぷり。日本も、インドの“好い加減”を見習う必要がありそうです。



Special Thanks

インド特集記事 作成協力

Kevalさん (BR)

(上の写真、左側)

竹内 崇大 (岡畑興産)

[LINK](#) ▶ 岡畑の熱い人々

<https://okahata.wixsite.com/oksite/01captain>

直近のインド品開発レポート

カルボマー 採用間近！

新型コロナにより、手指消毒剤のニーズが高まったのは周知の通りですが、日本ではミストタイプ、韓国ではジェルタイプが好まれています。

このジェルの様な質感をだすためにはカルボマーが増粘剤として使用されるケースが多く、昨年、カルボマーがタイトになった時期に、岡畑Koreaは、サプライヤー探索に乗り出しました。もちろん、日本のメーカーにもあたりましたが、供給余力なし。

インドメーカーのカルボマーを一斉に韓国マーケットに紹介し、複数ユーザーで採用間近です！衛生用剤向け添加剤供給で、ESGのS＝社会に少しでも貢献できればと思っています。(坂出)

おまけ

LINK ▶ 旧正月”新年快樂”中国語挨拶@Youtube

https://www.youtube.com/watch?v=leJZ_2k6RUQ



編集後記

Gender Gap

(社内報Gazette2021年1月号より転載)

去年の「GAZETTE」10月号にギンズバーグ氏の、11月号にはカマラ・ハリス氏の言葉を引用した。どこの国でも多かれ少なかれ性差別、人種差別、格差などはある。だからこそ、議論をし、さまざまな試みをし、改めることは改めて、前に進もうとしているのだ。

東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長森喜朗氏の「女は……」発言に批判が集中しているが、もともと「失言(本音!?)男」なので、驚くにはあたらない。たまたま「オリンピック」という世界的イベントの会長の発言だったため、批判が世界中に拡散し、ブーメランのように日本に戻ってきて再沸騰したのだろう。あってはならないことであるが、ごまんとある日本特有の先生方の差別発言だったら、スルーされているか、多少の批判はあっても寝たふりをしていれば、いつの間にか忘れられて何もなかったかのように日常が戻ってきていたに違いない。

実際、日本で聞こえてくる批判の大半は、「誰が森の首に鈴をつけるのか」とか「外国人に日本人が同じように思われたら恥ずかしい」とか「会社だったら、即アウトだね」とかいった表面的なものばかりで、日本の中等・高等教育、政治家・経営管理職、教授・専門職、国会議員数、労働力参加、賃金などの男女格差がいかに大きいかという根本的な問題を論じている記事や報道は少ない。

こんな現状だから「Global Gender Gap Report 2020」で、日本は過去最低の121位(153カ国中)なのだろうと思う。目指すべきはアメリカでも中国でも韓国でもなく、トップ3のアイスランド、ノルウェー、フィンランドだ。

先日、台湾IT担当大臣のオードリー・タン氏のインタビューを観ていたら、虹色のマスク(虹色はLGBTのシンボルカラーだ)をして、台湾の「IDカード」のサンプルを手に、「このカードにはIDナンバー、名前、生年月日はありますが、性別は書かれていません」と話していた。また、デマの拡散を封じるにはユーモアが必要、「Humor over Rumor」。対立は必ずしも悪いものではない。対立からイノベーションや新しいアイデアの価値を人々に気づかせることになる、とも。

インタビューアーが最後に日本人にメッセージがあれば、と聞くと、「それではいつもの言葉ですが、長寿と繁栄を!」と言って微笑んだ。いいな~、この軽やかさ。彼はまさしくジャック・アタリ氏の言う「ポジティビズム」「オプティミズム」の両方を持ち合わせている人なのだな、と感心した。

ニュースレター バックナンバーはこちら

[LINK ▶ https://okahata.wixsite.com/oksite/onl](https://okahata.wixsite.com/oksite/onl)

岡畑興産株式会社 ニュースレター / 毎月発行

2021年2月26日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL : 06-6251-8252 FAX : 06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2021.2.26 / Issue 010

© 2021 オカハタとアイデアと